

# 1. 工 程 管 理

(例) 平成 年度 ○○○ 工事 総合工程表 業者名

工種	種別	数量	換算率	所要日数	月 別					摘 要	
					5	6	7	8	9		10
土工	切土	20,000m <sup>2</sup>	20	60		7000(5.1) 7000(5.2)	7000(5.1) 7000(5.2)	6000(4.8)			
	盛土	30,000m <sup>2</sup>	8	80		7000(1.0) 7000(1.0)	7000(1.0) 7000(1.0)	8000(1.7) 6000(1.0)	2000(0.3)		
擁壁	重力式擁壁	100m	26	100							
	ブロック積擁壁	1000m <sup>2</sup>	23	50							
排水	側溝	500m	7	10							
	集水溝	10ヶ所	3	30							
	函渠	20m	0	30							
雑工事	支道取付	5ヶ所	2	10							
仮設	防護柵	200m	4	7							
	山留工	20m	2	4							
総合(金額) 工程			100		(5)	(23)	(51)	(78)	80	95	100
記 事											

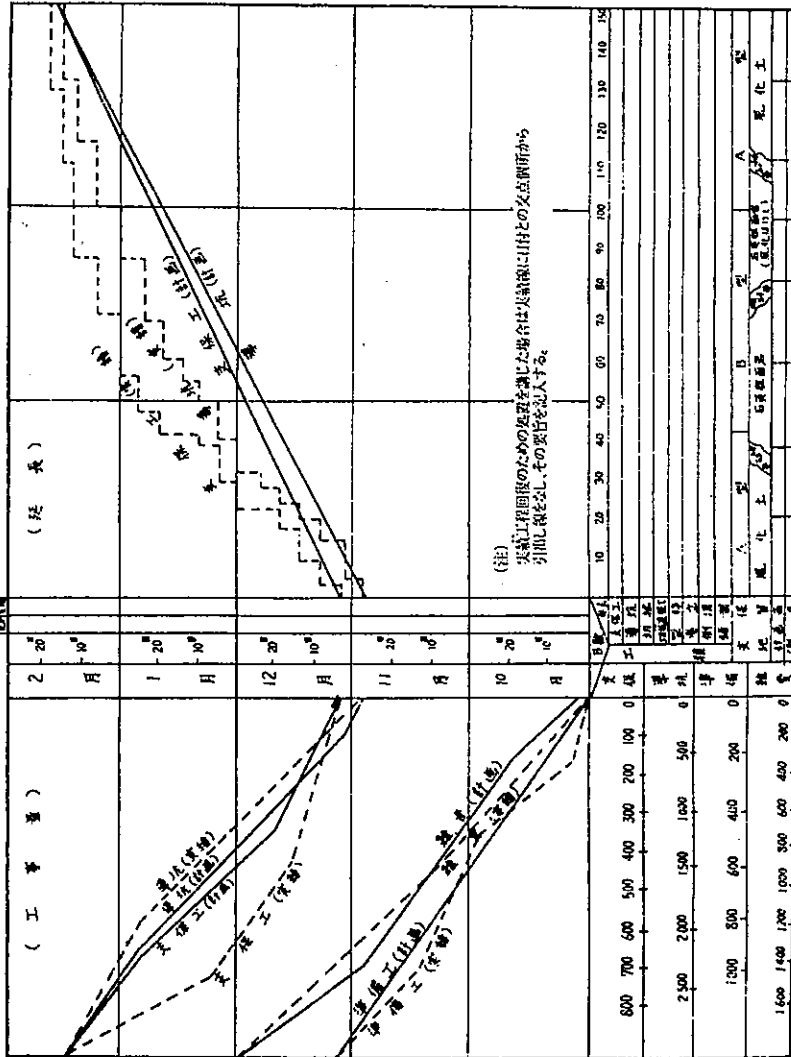
※記入要領  
 上段は予定数量を記入し(月別)換算出来  
 直率を( )書で記入する。  
 下段は実績数量を記入する。  
 変更指示があった時点で変更数量により予  
 定を組み替える。  
 この時点において、数量が増大し工期的に  
 不可能な場合は協議して工期の延期をする。

工程の算出は直接工事費(指定仮設の含め  
 る)までの請負費によりおのおの請負者側  
 で算出するが指示票による増減があった場  
 合はその都度請負者側で見積り請負費の増  
 減により組み替えて算出する。(10%  
 程度の変更指示で訂正する。)  
 又算出相違は整理しておくこと。  
 総合工程は種別出来高換算率の合計で月別

は算計で計上する。  
 工種は雑工事までとするが、指定仮設等  
 特に工程に影響がある仮設については記載  
 する。  
 工種、種別、数量についてはあらかじめ監  
 督職員と協議して作成する。  
 種別工事費  
 換算率 = 直接工事費



平成 年度 ○○○○○○工事 短期工程表 (参考例-2)





平成 年度 ○○○○○○工事 短期工程表 (参考例-6)

通算日数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
計画	月	8								9						
	日	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
実績	月	8								9						
	日	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
天候																
%																

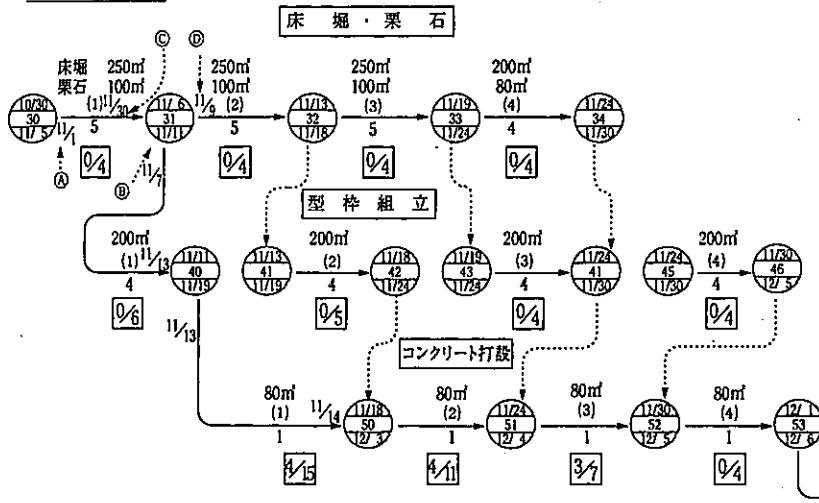
  

(注)本工程表は築堤あるいは掘削工事等に適用される。



2) 実績の記入法

・ネットワーク



・管理図表

